

## 第 15 回議会報告会 報告書

地 域 名	養父地域		
年 月 日	平成 29 年 4 月 20 日 (木)	会 場 名	ふれあいセンターやぶ
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参加数	男性 14 人	女性 0 人	合計 14 人
班 長	植村 和好	司 会 者	植村 和好
報 告 者	田中 久一	書 記	勝地 貞一
班 員 名	植村 和好、田中 久一、勝地 貞一、津崎 和男		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①地域公共会社「やぶパートナーズ(株)」は必要な会社だと思うが、どのような会社なのか説明してほしい。</p> <p>②指定管理のあり方を議会として調査する必要はないか。「まんの湯」は閉店日が多く、シルバー人材センター運営の食堂もどうなのか。調査をしっかりと行わないと、市に負担がかかってくるのではないか。</p> <p>③総務文教常任委員会の報告で、「平成 23 年 3 月に策定した養父市学校整備(再編)計画について評価・検証を図っていきたいとの考え」とあるが、遅いのではないか。人口減少対策、乳幼児・児童対策をいかに市内で取り組むかが必要ではないか。</p>	<p>①100%市の出資会社である。一般会計予算に経営委託料として 2,400 万円を計上されたが、付託された予算特別委員会で審査の結果、2,400 万円全額を減額し、予備費に充当する修正案が可決された。本会議では、2,400 万円から 1,800 万円を減額して 600 万円とする修正動議が提出され可決した。会社体制・事業体制が見えない、会社の実状が把握できない(監査報告もない)、検証委員会の提言への対応がわからない等の理由で、3カ月間の期限つきで、会社全体の方向性を提示するよう条件を付した。市に必要な会社であることは、周知のとおり。</p> <p>②シルバー人材センター運営の食堂と温泉の運営は、切り離してご理解いただきたい。食堂は地産地消を实践するもので、別管理になる。</p> <p>③統廃合に対処するため、ある地区では自治協議会等による支援対策を行っている。近隣の市町との比較でも保育料、医療費等で手厚い優遇措置がある。また、今年度には旧八鹿幼稚園舎を子育て・移住サポート施設として予算をつけ対応している。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	<p>①養父小学校のトイレ設備について、洋式トイレが各階に1つしかない。ほとんどの子どもの家庭では、洋式トイレである。今どき和式はそぐわないのではないか。和式トイレに行きづらい子どもは、家に帰っているとの報告もある。議会で実態調査をしてほしい。</p> <p>②地区の祭事に対する補助金について、過去に削減（1割カットを2回）されて元に戻らない、削減しっぱなしでは困る。議会で実態調査をしてほしい。</p> <p>③地域局担当職員が減っている。特に公民館の職員が減少して、公民館活動ができない。</p>	<p>①全てを洋式にはできないと考えられる。</p> <p>②第2次行政改革で補助金の見直しが行われた。旧4町の祭事補助金は、均衡を保ち交付されていると思う。</p> <p>③職員人事については市長の専決事項であり、議会は入れない。当局には伝える。</p>
その他（提言など）	<p>①市内小中学校の児童数減少について、養父市全体で学区を考える必要がある。児童の送迎対策をすれば、今の校区にこだわることはない。</p> <p>②養父市への児童の取り込みは、環境づくりが大切である。（子育て・移住サポートセンター（旧八鹿幼稚園）のような施設）</p>	<p>①統廃合を繰り返しながら対応していくことになると思う。</p> <p>②ご意見としてお聞きした。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 29 年 5 月 10 日

報告者 4班 班長 植村 和好

